



学校だより

かけ橋

パート III

横須賀市立汐入小学校 校長室

2013. 7. 16

No. 8

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

子どもからの思わぬ贈り物

学校で子どもたちと毎日過ごしていると、様々な贈り物をもらいます。朝、元気にあいさつする子どもから元気をもらい、授業中、大人が考えつかないような発想の発言から、認識を広げられることもあります。

また、年度末には、いろいろお世話になりましたという感謝の手紙をもらい、具体的な内容に、思わず目頭が熱くなることもあります。

先日も、校長室にクイズの答を言いに来た子どもから、思わぬプレゼントをもらいました。2人の女の子が、クイズに答えた後、月が変わっていたので、その子たちに、カレンダーを切り取ってくれるようお願いしました。快くやってくれたので、裏に好きな絵を描いていいよと言って、ペンを渡しました。

2人は、描き始めましたが、途中は、「見ないでください。」と隠していました。できあがったのが、右の絵です。横には、「いつもパトロールありがとうございます。校長先生」と書いてありました。

「描きなさい」と言われたのではないのに、こんな素敵な絵を描いてくれて、すっかりうれしくなりました。教師をやっていて良かったと感じる瞬間です。

このようなうれしい出来事は、最近の汐入小ではいくつか聞いています。こういったやさしい気持ちは、学校だけでなく、家族や地域の中で育まれているんだなど、改めてうれしい気持ちになりました。



「お神輿」

だいぶ前の話になりますが、汐入のお祭りが終わった後の朝会で、「お神輿」と書いた紙を見せて、「わかる人は、手をあげて」と言うと、10人くらいの子が手をあげました。

一人の子に当てると、「おまつり？」と自信なさそうに答えました。昨日までお祭りだったので、そう答える気持ちはよくわかります。「違います。他には？」と聞くと、「おさいせん」と、これも自信なさそうに答えました。神という漢字があるので、「お」がつく言葉で、神様に関係がある言葉を考えたのだと思います。次の子は、「おしんこ」。なるほど、音読みにすると、そんな気がしてきます。最後に、6年生の男の子が、「おみこし」と正解を言ってくれました。

まだ、習っていないので、読めなくても仕方がないのですが、自分の持っている知識を総動員して、何とか答えようとする子になって欲しいと願っています。また、間違えることを厭わず、自信を持って発言できる子になって欲しいと願っています。大人になると、なかなかできにくくなることなので、子どものうちに、たくさん失敗したり、間違えたりする経験を積んで欲しいものです。

今回の自校献立は2年生がお手伝い

7月10日の自校献立は、とうもろこしがでました。とうもろこしは、とってから半日経つと甘みが半分になってしまうほど鮮度が落ちるのが早いそうです。そのため、2年生が皮むきのお手伝いをしました。



つぶが
かいだん
みだいに
ならんでる!

かき
皮は草の
においがするよ

つぶのすきまから
ひげがでてるよ

栄養士の黒田先生
が作ってくださった資料です。
子どもらしいつぶ
やきがかわいいで
すね。



とうもろこしを給食室にとどけて、
調理員さんに、ゆでてもらいました。

ぼくたちが皮をむきました。
おいしくゆでてください。
おねがいします。



とうもろこしは、きれいに洗って切りました。とうもろこしの芯はかたくて、
切るのがたいへんだったよ。

大きなおかまに、とうもろこしをていねいに並べて入れて、ゆでること10分!

ぜんこうで、きせつの
あじを、たのしみました。
甘くておいしかったね。

わかめごはん
ぎゅうにゅう
やさいのみそしる
かじきのこうみづけ
とうもろこし

